事業発展、総会で誓う

東信土岐地区経済倶楽部

東濃信用金庫の土岐市内の4支店、3出張所の取引先でつくる東信土岐地区経済倶楽部は29日、総会を同市土岐津町高山のセラトピア土岐で開いた。新型コロナウイルスの影響で、4年ぶりの開催。会員の経営者ら約100人が参加し、事業の発展を誓った。



総会であいさつする玉樹成三会長＝土岐市土岐津町高山、セラトピア土岐

会員は256人。来賓として加藤淳司市長、石黒信彦土岐商工会議所会頭、山内房壽県議らが出席した。玉樹成三会長（丸利玉樹利喜蔵商店会長）が「先の読めない年だが、東濃信金の格付けは中部でも上位で間違いない。経済について学び、行動に移していこう」とあいさつ。議事では会社見学、ビジネスフェア視察といった今期の事業計画と収支計画などを承認した。

東濃信金の加知康之理事長は「円安、インフレの問題があり、取引先の中小企業は大変厳しい状況。賃上げもなかなかできない。こんな時こそ信金の出番。顧客の声をしっかり聴き、少しでも支援できるよう一生懸命努める」と述べた。

講演会があり、飯田泰之明治大政治経済学部教授が「日本の景気と経済成長」をテーマに講演した。懇親会もあった。（小森直人）

無断複製・転載を禁じます